

「安倍9条改憲NO！11・3憲法集会 in 京都」の開会挨拶をいたします。いまや総選挙を経て安倍政権による9条改憲がいよいよ切迫した問題となってきました。ここにおいて憲法9条の会をふくむ、改憲阻止、戦争法反対や立憲主義を守る市民運動の諸団体が、大きく協働して『安倍9条改憲NO！』の一点で、「全国市民アクション」の大運動に取り組み始めました。いよいよ決戦です。

ところで私たちは、こうした全国的運動や、京都全体の運動とともに、私たちそれぞれの地域に根を下ろした運動にも取り組まねばなりません。ちなみに総選挙の結果をみますと、どこの選挙区や地域でも、改憲派は、私たち改憲反対派の一倍半ないし二倍の得票数をもっています。いまかりに憲法改正の国民投票を迎えたとしたら、改憲を阻止するためには、どのくらいの規模の戦いをしなければならないでしょうか。いうまでもなく選挙と国民投票の違いはあるにしても、私たち改憲反対派は現状の一・五倍から二倍の得票をとらなければ、改憲を阻止する責任を果たすことはできないのです。この数字は、一方でかなりの重圧をもったのしかかってくる。しかし他方で「しっかり準備していけば勝つことができる」という想いを抱かせるものです。皆さん、このことをしっかり念頭において、私たちの運動の広がりや定着を図っていかなければなりません。簡単ですが、以上をこれからの活動の根本にすえることをお願いして、本日の集会の開会のあいさつといたします。